

## 特別会計・企業会計・財産区予算の概要

## 【特別会計予算の概要】

会 計 名	平成22年度予算額	平成21年度予算額	増減
国民健康保険事業	9,559,614千円	9,050,198千円	5.6%
事業勘定	9,395,580千円	8,886,551千円	5.7%
診療所費	164,034千円	163,647千円	0.2%
簡易水道事業	0千円	592,721千円	皆減
住宅新築資金等貸付	64,735千円	73,817千円	△12.3%
駐車場事業	54,693千円	57,351千円	△4.6%
老人保健	6,875千円	54,549千円	△87.4%
介護保険事業	7,530,897千円	7,024,887千円	7.2%
農業集落排水事業	2,015,468千円	2,396,740千円	△15.9%
公共下水道事業	1,008,693千円	1,486,172千円	△32.1%
浄化槽事業	46,761千円	64,129千円	△27.1%
サービスエリア	15,320千円	26,230千円	△41.6%
市街地再開発事業	936,945千円	142,882千円	555.7%
後期高齢者医療	925,506千円	947,874千円	△2.4%
合 計	22,165,507千円	21,917,550千円	1.1%

### <国民健康保険事業>

国民健康保険法に基づき、被保険者の疾病、負傷、出産又は死亡に関して必要な保険給付を行っています。国民健康保険税や国庫支出金等により運営しています。

また、医療機関の不十分な地域住民の健康保持のため山田診療所・阿波診療所・霧生診療所を運営しています。

### <住宅新築資金等貸付>

同和地区の環境整備改善を図るため、同地区住民の住宅の新築等に必要な資金の貸付事業を行っていましたが、現在では貸付は終了し、返済業務と資金貸付の原資として市が借り入れた市債の償還を行っています。

### <駐車場事業>

市が設置した11箇所の有料駐車場の円滑な運営と管理を行っています。

### <老人保健>

老人保健法に基づき、老人医療受給者の疾病又は負傷に対して必要な医療給付を行っています。支払基金交付金及び国庫支出金により運営しています。

平成20年度から後期高齢者医療への移行したことにより医療給付金が減額となったため、全体で87.4%の減となっています。

#### <介護保険事業>

介護保険法に基づき、要介護認定を受けた方に対して、さまざまな介護サービスに関する給付を行っています。また平成18年度より地域包括支援センターを設け、介護予防に関する事業も行っています。

#### <農業集落排水事業>

農業用排水及び公共用水域の水質保全、農業集落の生活環境改善を図るため、し尿及び生活雑排水の処理にかかる集落排水施設の整備及び維持管理を行っています。

#### <公共下水道事業>

地域の公共用水域の水質保全を図るため、下水道の整備や終末処理場の維持管理を行っています。主に市街地の下水を排除・処理する「公共下水道」と、市街地以外の下水を排除・処理する「特定環境保全公共下水道」があります。

本年度は、希望ヶ丘地区処理施設の建設が完了したこと等により、32.1%の減となっています。

#### <浄化槽事業>

公共用水域の水質保全と生活環境の改善を図るため、青山地区の事業対象処理区域において、設置希望者からの申請により市が合併処理浄化槽を設置し維持管理を行っています。

設置希望者からの工事分担金と国庫支出金及び市債により浄化槽を設置し、毎月の浄化槽使用料により維持管理を行っています。

#### <サービスエリア>

名阪国道を利用する人々の利便性の向上と、地域の特産物等を含む商工観光を広く啓発するため、名阪国道下り線に設置された伊賀サービスエリアの管理・運営を行っています。

サービスエリア内の食堂及び売店等の営業を委託した民間事業者より売上げの一定比率を納入願ひ、市はその収入をサービスエリアの維持管理費に充てています。

#### <市街地再開発事業>

平成19年度から新たに設置された特別会計です。都市再開発法に基づき市が施行する市街地再開発事業の会計処理を行います。国庫支出金と一般会計からの繰入金、市債により事業を実施しています。

本年度は、事業区域南側（未除去区域）の除去及び埋蔵文化財発掘調査を行った後、駅前再開発ビル建築工事に着手すること等により、555.7%の増となっています。

#### <後期高齢者医療>

法改正により老人保健特別会計から移行して75歳以上の後期高齢者医療受給者の疾病又は負傷に対して必要な医療給付などを実施するための特別会計です。

受給対象者から保険料の徴収などを行い、三重県後期高齢者医療広域連合に対し納付金を支払い、医療給付などの事務を県下で一元化し運営しています。

## 【企業会計予算の概要】

会 計 名	平成22年度予算額	平成21年度予算額	増減
病院事業	4, 143, 470千円	4, 172, 295千円	△0.7%
収益的支出	3, 573, 405千円	3, 431, 301千円	4.1%
資本的支出	570, 065千円	740, 994千円	△23.1%
水道事業	5, 178, 332千円	4, 376, 671千円	18.3%
収益的支出	2, 923, 179千円	2, 681, 755千円	9.0%
資本的支出	2, 255, 153千円	1, 694, 916千円	33.1%
合 計	9, 321, 802千円	8, 548, 966千円	9.0%

### <病院事業>

上野総合市民病院を開設し、市民の健康保持に必要な医療を提供しています。

収益的支出の主な内容は、医師、看護師などの給与費と医療に係る材料費があります。

資本的支出の主な内容は、医療器械の購入費と企業債の償還金があり、本年度は、耐震補強工事に係る額が前年より減ったため、23.1%の減となります。

### <水道事業>

安全でおいしい水の安定供給を行うため、浄水施設の維持管理及び整備、老朽水道管の更新、上水道未普及地域への拡張事業を行っています。

対象地区は上野地区（簡易水道区域以外）、伊賀・阿山地区で、それぞれに事業所を設置し業務を行っています。また本年度より、簡易水道事業と統合することに伴い、全体の支出は、18.3%の増となります。

収益的支出の主な内容は、浄水や給水に係る人件費や維持管理経費、企業債の支払利息などがあります。

資本的支出の主な内容は、配水管更新事業や浄水施設整備、水道拡張等の建設改良費と企業債の元金償還金があり、本年度は、配水管更新事業等に係る額が前年より増えたため、33.1%の増となります。

## 【企業会計について】

地方公共団体が経営する水道（簡易水道を除く）、病院、鉄道、電気、ガス等の事業は、地方公営企業法に基づき、経理の方法を企業会計により処理しています。よって、一般会計やその他の特別会計とは異なり、当該年度の営業に関する収支（水道料金、診療報酬、人件費、物件費、材料費等）を「収益的収支」、投資的な収支（企業債、出資金、建設費、企業債償還金等）を「資本的収支」として、2本立ての予算が組まれています。

また、損益計算書や貸借対照表等の財務諸表の作成が義務づけられています。

## 【財産区特別会計予算の概要】

会 計 名	平成22年度予算額	平成21年度予算額	増減
島ヶ原財産区	29,260千円	29,983千円	△2.4%
大山田財産区	9,714千円	7,857千円	23.6%
合 計	38,974千円	37,840千円	3.0%

### <島ヶ原財産区>

島ヶ原財産区は、旧島ヶ原村が過去の災害を教訓として保全してきた山林等の管理造成のために設置されています。主にゴルフ場への土地貸付収入により運営しています。

財産区が所有する山林等は合計で約410haあり、保安林216ha、山林91ha、雑種地など103haで構成されています。

### <大山田財産区>

大山田財産区は、旧大山田村の住民を中心に保全、継承してきた「千歳の森」及び分収林の管理造成を行うため設置されています。主に土地貸付収入と独立行政法人「森林総合研究所」からの水源林造成事業の受託事業収入により運営します。

財産区が所有する山林等は合計で約191haあり、保安林118ha、山林49ha、原野24haで構成されています。

## 【財産区について】

財産区は地方自治法により法人格が認められた「特別地方公共団体」です。財産区の権限は、財産又は公の施設の管理及び処分又は廃止に限られ、市のように広範囲で事務を処理することはできないとされています。また、市は財産区の経費について会計を仕訳けする必要があります。

島ヶ原及び大山田財産区においては財産区の執行機関は市であり、議決機関は市議会ですが、財産の管理又は処分に関する事項については、条例に基づき設置された「管理会」の同意を得なければならないものがあります。